

令和4年度認知症施策検討委員会

項目	内容
事業 目標	<ul style="list-style-type: none"> ①支援困難となりがちな家族や地域と疎遠な独居高齢者の実態把握強化 ②認知症の正しい知識の普及啓発と医療・介護の連携による切れ目のない支援体制（認知症初期集中支援チーム）の強化 ③認知症サポーターを中心とした本人・家族のニーズと支援をつなぐ仕組みの整備（チームオレンジの構築） ④本人が発信できる場の整備
目指す 成果	<ul style="list-style-type: none"> ① 支援の必要な認知症の人を早期に把握し支援できる。 ② 認知症に早めに気づき、本人、家族が必要時に適切な支援を受けることができる。 ③ 認知症の人への見守りの目や支援者が増えて、本人やその家族が安心して生活できる。 ④ 認知症の人同士の繋がりができる。
令和4年度 取り 組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 独居高齢者の実態把握を積極的に行い、家族や地域と疎遠な高齢者を早期に支援する。 ② 9月アルツハイマー月間における認知症理解の啓発、認知症サポーター養成講座や介護予防出前講座の積極的開催 ③ 認知症サポーターステップアップ講座によるオレンジサポーターの育成。チームオレンジとして活動するための基盤づくりをすすめる。 ④ 本人ミーティングの開催
年間 予定	<ul style="list-style-type: none"> ① 認知症施策検討委員会（年3回）：7月、11月、2月 ② 家族介護者交流事業、認知症カフェ連絡会、キャラバン・メイト連絡会の合同開催：7月 ③ 認知症サポーターステップアップ講座の開催、チームオレンジの構築 ④ 認知症声かけ訓練の実施 ⑤ 本人の声を活かした認知症ケアパスの作成 ⑥ 高梁・新見地域認知症疾患医療センター会議 高梁部会への参加

